

# 富沢小学校図書館の紹介

富河小学校と万沢小学校が一つになった富沢小学校。4月で3年目になります。

富沢小学校では、

- (1) 子どもたちが読書の楽しさや喜びを味わい、豊かな心情を育む場とする。
- (2) 学校図書館を効果的に活用し、主体的な学習態度を培う場とする。

この2点に取り組み、魅力的な学校図書館になることを目標としています。

読書の中で、たくさんの言葉を学んだり、感性を磨いたり、想像力を豊かにしたりすることで、他者を思いやる心や感動する心が育まれることを目指しています。



## 魅力的な図書館づくりとしての実践概要

### ◇図書委員会による読書推進活動

毎月、学年ごとのベストリーダー賞として委員会手作りのメダルを、朝読の時間に授与しています。また、夏休みの課題図書や、図書委員会からのおすすめ本の紹介、7月には七夕飾りの準備も行いました。読書週間のイベントとしては、春には手作りの”しおり”を全校児童に、秋には図書集会に合わせて読書ビンゴ、ポイントカード、Book クエスチョンを実施し、達成者にはくじ引きのお楽しみ企画等を行いました。



### ◇おすすめ図書の紹介活動

各学年の先生がおすすめする図書の設置や、購入図書の表紙カバーの掲示、図書だよりでの紹介や季節に沿った図書のテーブル展示など、児童が積極的に手に取れるような工夫を行っています。

### ◇児童の読書を支える活動

ボランティアによる本の読み聞かせや、町立図書館を含む学校間の蔵書リクエストの取り扱い、町立図書館からの定期による学級文庫の配送も魅力的な図書館につながっています。また、今年度から児童の主体性と図書に関心を深めてもらうために、年間を通して児童自ら図書購入希望を出せるよう記載用紙を準備しました。

## 今後の展望

図書委員会による積極的な読書推進活動は、自分たちがつくる図書館という意識が高まった証です。学校図書館は、静かに本を読む場所から、児童自ら本の話ができる場所が変わっていくべきです。これからも、主体的・対話的で深い学びをめざした学習活動ができ、好きなことへの興味や関心を高める場としての学校図書館を目指していきたいと思っています。



## 今月の新刊情報



「海坂藩に吹く風」藤沢周平を読む  
湯川豊著  
「蟬ぐれ」「三屋清左衛門残日録」「橋ものがたり」など、数々の名作を残した藤沢周平。いまなお多くの人々をひきつけるその魅力に迫る。藤沢周平年譜や作品リストも掲載。



「11の秘密」ラスト・メッセージ  
大崎梢・近藤史恵・他著  
隠された幻の家訓、ある一族の謎めいた掟、読まれるはずのなかった遺言。さまざまな形で残されたラスト・メッセージとは？大崎梢、近藤史恵ら11人の実力派女性作家による、驚きと感動のアンソロジー。

「答えは風のなか」  
重松清著  
はじめて感じるモヤモヤ。この気持ちはなんだろう？きっと誰もが胸のなかに抱えているもの。「きみの町で」に続く10の物語朝日出版社ウェブマガジン、『あさひてらす』掲載等を単行本化。



「田辺聖子十八歳の日の記録」  
田辺聖子著  
大空襲、敗戦、父の死、作家への夢。2021年に発見された作家・田辺聖子が1945～47年の青春期を綴った日記。田辺文学の源泉にして、一級の時代の証言。『文藝春秋』掲載に雑誌未収録の日記、小説等を加え書籍化。

「100年時代の行動戦略」  
アンドリュー・スコット著  
この変わり続ける世界で、どう生きるか？テクノロジーが急速に変化するなかで長い人生を生きるためには、健康、スキル、人生の目的、雇用、人間関係を維持することが大切であることを、7人のキャラクターを通して伝える。



「ママがもうこの世界にいても」  
遠藤和著  
21歳で大腸がんステージ4宣告、22歳で結婚。「どうしても子供がほしい」と抗がん剤を止め、23歳で出産。過酷な状況の中で前向きに生き、24歳で亡くなった女性の生と死を見つめた日記。



HAPPY  
NEW YEAR!  
2022  
今年もよろしくお祈りします

## 地域資料の紹介！



「武田三代」  
信虎・信玄・勝頼の史実に迫る  
平山優著  
PHP新書



武田信虎はいかにして、名実ともに甲斐の覇者となったのか。信長、謙信、足利義昭を驚倒させた信玄の外交戦略とは。なぜ勝頼は武田家最後の当主となったのか。武田家三代の波乱の歴史を、近年の研究成果を踏まえて語ります。

【平山優】元山梨県埋蔵文化財センター文化財主事、山梨大学非常勤講師、山梨県史編纂室主査、山梨県教育庁学術文化財課主査、山梨県立博物館副主幹。



「井出の寺子屋教育を支えた寺院教育と南岡先生の足跡」  
—江戸中期から現代にいたる井出の教育の歴史—  
佐野辰巳著

かつて井出には5つの寺院があり、栄えた村であった。その繁栄の基礎は富士川舟運にあり、井出はその一つの宿場であった。(本書より)

当時の井出の記録や古文書等をたどり研究され、まとめた内容が本書となり出版されました。

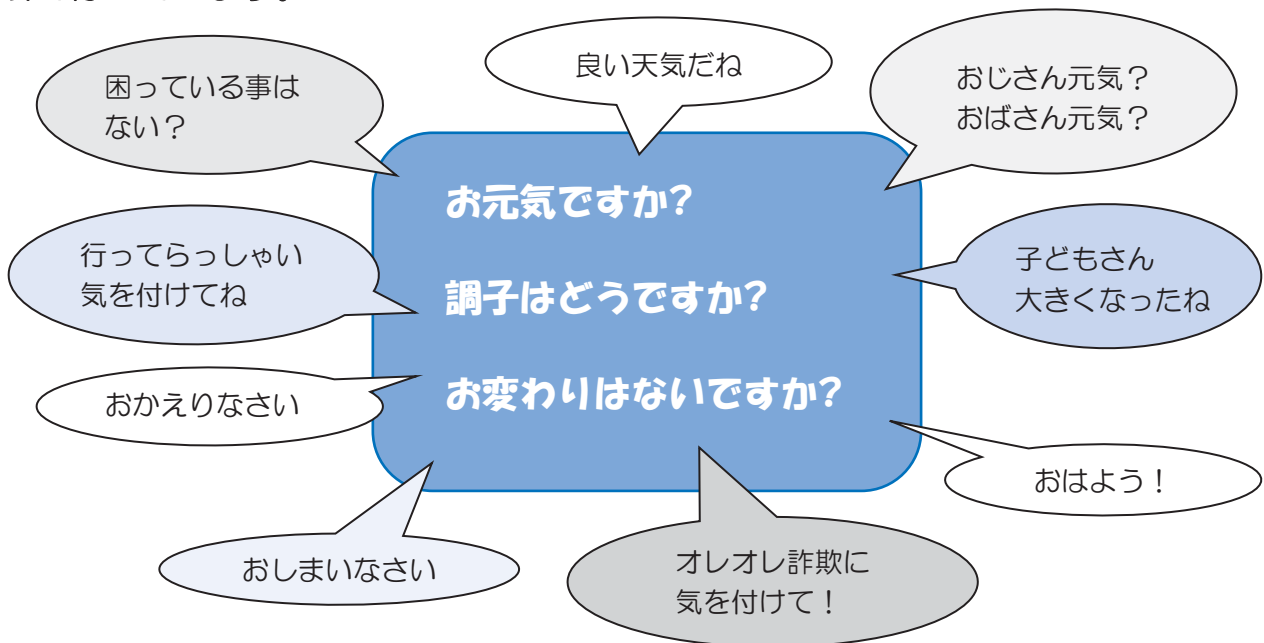
南部図書館・富沢図書館両館に寄贈していただきましたので、町民の皆様ぜひ、ご覧ください。

# スマイルなんぶ通信 No.83

「なんぶ健康会議」に関わる課・組織が情報をお伝えします。今回は「愛育会」です。

こんにちは！南部町愛育会です。愛育活動で最も大切な『声掛け見守り』活動をご紹介します。

愛育会では地域で気になることの話し合いの中から「日々声を掛け合うことが大切」「だから声掛けのきっかけになる言葉を大切にしたい」と下のような声掛けを地域で行っています。



昨年に引き続き今年も新型コロナの影響のため研修旅行も運動教室も開催できませんでした。しかし、ご近所さんに声を掛け（もちろんソーシャルディスタンスで）見守りすることは出来ます。声掛け、見守りは愛育さんでなくてもどなたでも出来る活動です。**コロナ禍であってもご近所同士で声を掛け合い、見守りあえる南部町でありたいですね。**



第3回分班長会議の様子

もしも、声掛けや見守りをされていて「おかしいな？」「大丈夫かな？」と感じるご家庭があって、ご家族やご近所さんでの対応が難しい場合は地区の民生委員さん、地区担当の保健師さんに相談してはいかがでしょうか。